宣	山高等専	 門学校	開講年度	平成29年度	(2017年度)	授業科目	運用概論Ⅱ		
科目基礎		N. L. L. I.	Z/ <del>Tel</del> uciu	1 13/1/2 7 十/又	(2017 干汉)		T ШШWILCI (코스)		
科目番号	CIH+K	0084			科目区分	専門 / 必	 修		
授業形態		授業				<i>'</i>	履修単位: 1		
開設学科		商船学科	20013			2	1212 1 12: -		
開設期		後期	1.336.3.11			2			
教科書/教材 海技実習ポケットブック					週時間数				
担当教員 笹谷 敬二									
到達目標	<u> </u>								
			舶運航能力を本校小	・舟艇を使用して	実体験させるととも	5に、沿岸航海に必	必要な基礎的知識	戦と技術を座学及び演	
ルーブリ	Jック								
	-		理想的な到達レイ	ベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目安	未到達レベノ		
学科の到	]達目標耳	頁目との関 <sup>・</sup>	係		•		1		
教育方法	等								
概要								<b>ミ施する。</b>	
授業の進め	b方・方法	船舶職員の知識と技行	として必要な基礎的 析を座学及び演習を	な船舶運航能力を 通じて身につける。	を本校小舟艇を使用 る。	して実体験させる	らとともに、沿岸	岸航海に必要な基礎的	
注意点		養成施設( 運用の科) 評価が		り扱い積みつけ、	、非常措置、乗組員 り追認試験を受ける	の管理及び訓練に ことができる。追	関する科目及で 認試験の結果,	が地文航法に該当。 単位の修得が認めら	
授業計画		•							
300000	Ī	週				週ごとの到達目標	## ##		
後期		1	機動艇操縦			校内機動艇2艇の操縦実習 機動艇を実際に操縦し、操 縦性を体感する。			
	3rdQ	2週	同上			同上			
			同上			同上			
			テークルの取り扱い、ボースンチェアーの取り扱い			テークルの機能を理解する。ボースンチェアーの取り 扱いを知る。			
		5週	船位の求め方			水路誌説明、海図の見方			
		6週	同上			三角定規、コンパス、ディバイダーの使用方法			
		7週	同上			クロスベアリングによる船位の決定(演習)			
		8週	同上			コースラインの記入、位置決定、流潮航法演習			
		9週	同上			流潮航法演習			
		10週	同上			同上			
		11週	同上			同上			
	4thQ	12週	同上			同上			
		<b>—</b>	保安応急部署			船員法で定められる保安応急			
			国際信号旗取り扱い			国際信号書による国際信号の理解			
		<b>—</b>	成績評価・確認			講義内容について設問			
		-							
モデルニ	]アカリ=	<u>キュラムの</u>	学習内容と到達	目標					
分類		分野	学習内容	学習内容の到達	目標		到	達レベル 授業週	
評価割合	<u> </u>								
試馬		験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合 0			0	0	0	0	0	0	
基礎的能力			0	0	0	0	0	0	
専門的能力		-	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力 (			0	0	0	0	0	0	